

平成 24 年度 活動 報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1. 平成 24 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 緑化推進・循環型社会構築、地域防災等に関わる社会貢献活動の普及・促進

2. 平成 24 年度の事業実績概要

今期は、設立から 9 年目（平成 15 年 11 月 25 日設立）を迎え、7 年目となる長野市リサイクルプラザの指定管理者を行うとともに、長野県から『家庭の省エネ診断制度構築事業委託業務』（昨年度までの「家庭の省エネ“見える”化事業」の継続）を受託、さらに「自然エネルギー信州ネット」の事務局支援を行うなど、事業の幅を広げることができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに 8 名の職員（パート含む）を配置したほか、事務局職員 4 名（パート含む）の計 12 名の有給雇用職員の体制とした。なお長野県からの受託業務終了や自己都合により、事務局 2 名が退職した。また、長野県からの受託業務を実施するため、委託仕様書に基づき省エネアドバイザー 4 名、省エネコーディネーター 1 名、支援スタッフ 3 名を雇用した（3 月末日まで）。

※平成 25 年 4 月 1 日より、定款第 20 条に基づき理事長が事務局長として宮下喬一（省エネコーディネータ）を任命（常勤雇用）した。

※長野県受託業務の支援スタッフ 1 名を事務局コーディネータ（パート雇用）に異動した。

※3 月末日でリサイクルプラザ職員 1 名が退職したため、事務局職員 1 名を異動した。

現在：プラザ 8 名（藤田、戸谷、太細、原田、丸山、北沢、木下、中村）

事務局 3 名（宮下、中村、望月） _____ が社保のある常勤雇用者

（参考 1 会員現況 平成 25 年 6 月 8 日現在）

1. 正会員（個人会員）	21 名
2. 正会員（法人会員）	11 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	11 名

合計 42 名（法人会員代表を含めた名簿登録者 59 名）

※正会員（個人会員） 2 名増 1 名減 正会員（法人会員） 1 名増

（参考 2 法人会員について）

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当 NPO 法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

24年度は、(1) 暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 (5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営、(6) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣、技術者派遣、(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政機関と協働で行う事業の8事業を行った。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

① イベントによる普及・啓発事業

『信州環境フェア 2012』、『ながの環境フェア 2012』などのイベントに、家庭の省エネ、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくり、ダンボール・木材によるクラフトなどの展示物や体験コーナーを出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2012/8/25 ～8/26	信州環境フェア2012	長野市ビッグハット	展示ブース体験者 137名
2012/9/9	ながの環境フェア2012	長野市清掃センター	全参加者 5,900名 ※指定管理者

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

① 県産材利用プロジェクト

地域産の木材の活用を普及させるため、『信州環境フェア 2012』などに展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

② 市民活動支援プロジェクト (エコドライブプロジェクト)

運輸部門のCO₂削減と、「環境」と「技術」の両分野に関わる技術者の育成を地域が支えながら実践していこうと、『エコマラソン 2012 長野』を開催した。第6回となる今回は、エムウェーブとアクアパル千曲の2会場において全国大会に準拠した燃費計測会を行った。延21チームが参加し、最優秀チームは284.30km/ℓという成績であった。環境イベント“エコフェスタ!”を同時開催し、エコドライブや電気自動車・ソーラーカーの試乗体験、自然エネルギーの展示、省エネ講習会などの普及啓発活動を行い、多くの参加(延1,460人)があった。アクアパル会場は、長野県下水道ふれあいデーと同時開催とした。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2012/7/7	エコマラソン 2012 長野 (エムウェーブ大会)	エムウェーブ	参加者 940名
2012/7/28	エコマラソン 2012 長野 (アクアパル千曲大会)	アクアパル千曲	参加者 520名

③ ESD（持続可能な開発のための教育）プロジェクト

ダンボールの世界で遊ぼう！やエコフェスタなど、子供たちが楽しみながら環境学習できるプログラムづくりと運営を行った。本事業は関連する他の項目でまとめた。

（３）自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①自然エネルギー信州ネット運営支援

産学官民の連携による協働組織「自然エネルギー信州ネット」（平成23年7月31日設立）の運営支援を行った。自然エネルギー信州ネットでは、県内における自然エネルギーの普及を促進するために、これを推進していく地域の組織（地域協議会）づくりと、この地域協議会の活動を通じて地域における自然エネルギー普及モデルの構築によりエネルギーの地産地消、地域分散型の自然エネルギー供給体制づくりを支援している。

（４）緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①NPO活動促進プロジェクト

当NPOの活動を促進するうえで効果的な助成制度に2件応募し、2件が採択された。また、平成22年度からの継続として1件の寄付（家電・住宅エコポイント）、平成22年度からの継続として1件（エコグリーン寄付）を受け、それぞれ平成22年度事業として実施した。
※各事業の該当する項目で重複して説明する。

●平成24年度 長野市地球温暖化防止活動支援事業

申請先：長野市地球温暖化防止活動推進センター

【事業1】

テーマ：『エコ旅で、楽しみながら家庭のリサイクル・省エネに取り組もう！』

内容：生活のなかにリサイクルやゴミの減量化、省エネ、自然エネルギー利用などを取り入れて、楽しくエコなライフスタイルをめざして、第6回目となる『エコマラソン長野2012』および第5回となる『エコフェスタ！』を開催した。

これまで、ダンボールを使って資源の有効利用とリサイクルの促進をめざした『ダンボールの世界で遊ぼう！』、驚異の省燃費を誇る自作エコカーとみんなができるエコドライブの大会『エコマラソン長野』、そして省エネルギーや自然エネルギーを広める『エコフェスタ長野』が夏季シーズンに独自イベントとしてそれぞれの実行委員会で運営してきた。今年度は夏のピークカット&ピークシフトをより強力に推進するためのキャンペーンとして、これらのイベントを一連のプログラムとして連携し、合同開催した。リサイクルや省エネ、自然エネルギー利用について、楽しみながら学び、体験することを通じ、省エネをライフスタイルに取り入れるとともに、夏のエネルギーの分散消費をおさえる“エコ旅～省エネ・ショートトリップ”のキャンペーンとなった。

助成額：200,000円 実施期間：平成24年7月8日、平成24年7月29日

【事業2】

テーマ：『薪をつくろう！森を育てよう！』

内容：長野市において有望な再生可能エネルギーである木質バイオマスの利用促進により、実効性のある地球温暖化防止に取り組む目的から本イベントを開催した。開催地である茶臼山公園には外来種などの樹林があり、樹種転換のための伐採・植樹活動と、発生材である木材を薪にすることによる木質バイオマス利用を融合させたプログラムを実施した。

助成額：200,000円 実施期間：平成24年11月23日

●家電エコポイント事業における環境寄付、住宅エコポイント事業における環境寄付（平成

22年度からの継続)

申請先：グリーン家電エコポイント事務局、住宅エコポイント事務局

内容：エコポイントの活用による、普及促進事業について、事業に基づく環境寄付対象団体に応募し、採択となった。今後、配分される寄付金額に応じて、森づくりなどの活動を実施する。住宅エコポイントについては、復興支援住宅エコポイントとして平成25年度も継続して開催予定。

助成額：家電エコポイント事業 557,669 円（平成23年5月～平成24年9月入金分）
住宅エコポイント事業 92,948 円（平成23年5月～平成24年5月入金分）

●エコグリーン寄付（平成22年度からの継続）

事業者：LLPエコグリーン（長野市内）

内容：クラブネットカードを利用した独自の寄付システムによる収益を環境NPOに再配分するしくみ。当NPOでは継続的に寄付を受け、ペレット燃料のモニターや植樹などの温室効果ガス削減に活用している。

寄付額：46,691円（平成23年10月入金分）

②技術支援業務

●長野市緑と花いっぱいの会

長野市緑と花いっぱいの会は、会員（70団体）の会費と長野市からの補助金を主な活動財源として、公共花壇を中心とした地域住民による緑化活動を展開するため、会員に対して花苗等の育成や技術向上のための講習会の開催などを実施している。平成22年度から事務局を担当し、都市緑化の実践活動を行っている団体の運営支援をしている。特に会員の使用する花苗は、春と秋の育苗活動で約5万株を配布し、長野市の緑育の重要な役割を担っている。

（5）自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①家庭の省エネ診断制度構築事業委託業務

平成22年度に長野県（環境部）からプロポーザルで特定され受託した業務を23年度に引き続き実施した。本業務では特に家庭における省エネを促進するために、省エネに関する知識と技能に優れた省エネアドバイザーを雇用し、県内各地で無料講習会（エコとく講習会）や無料訪問診断を開催した。また、平成24年度の事業では、平成25年度以降に実施する家庭の省エネサポート制度の企画検討、関係者との調整、試行運用支援を実施した。

受託した3年間の累計で講習会448回、診断687回を実施。行政機関や市民団体などが開催する環境に関するイベント等にも参加し、普及啓発に取り組んだ。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2012/4/1 ~ 2013/3/25	エコとく講習会	県内全域	114回 参加者4,679人
2011/4/1 ~ 2012/3/25	エコとく診断	県内全域	113回 (113世帯)

②森の恵体験～森づくりと森のエネルギー利用促進

『薪づくり！森を育てよう！』イベント

このプロジェクトでは薪ストーブユーザーが間伐などで森を育てながら薪をつくることで

地域に根ざした再生可能エネルギー資源循環を実現するとりくみを促進した。イベントでは、茶臼山公園内のニセアカシアなどを間伐し、これらを木質バイオマスエネルギー（薪）にし、活用することができた。また、同時にロケットストーブの紹介や、自然エネルギーについての講習等を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2012/11/23	「薪をつくろう！森を育てよう」イベント	長野市茶臼山	参加者 41 名

(6) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野県、長野市などで開催された委員会や環境学習に講師を派遣し、活動支援を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2012/6/4	長野市産業振興審議会	長野市役所	委員
2012/7/24	長野市バイオマスタウン構想推進協議会 第1回木質バイオマス利活用部会	長野市ものづくり 支援センター	協議会副会長 兼部会長
2012/7/27	国土交通省 長野県移動性・安全性向上検討委員会	長野国道事務所	委員
2012/8/11	長野市バイオマスタウン構想推進協議会 現地見学・意見交換会	保科温泉	協議会副会長 兼部会長
2012/10/5	長野市産業振興審議会 林業専門分科会 現地視察	須坂市内	
2012/10/25	長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会	長野市ものづくり 支援センター	委員
2013/2/19	長野市バイオマスタウン構想推進協議会 第2回木質バイオマス利活用部会	長野市ものづくり 支援センター	協議会副会長 兼部会長
2012/2/22	第1回長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会	長野市ものづくり 支援センター	委員
2012/3/15	長野市バイオマスタウン構想推進協議会	長野市ものづくり 支援センター	協議会副会長

(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

環境フェアなどにおいて、雨水循環利用についての普及啓発活動を実施した。また、国立長野高専、長野工業高校等の教育機関や民間企業への雨水ポンプ等の販売を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2012 年度	雨水ポンプ等の販売	長野市、飯田市	3 件

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に替わり、地球温暖化防止・環境保全に寄与できる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及啓発に取り組んだ。今年度は、多様な手法によりペ

レットストーブを新たに3カ所に設置したほか、ペレット燃料の販売代行を行った。

本年度はペレットストーブの長期貸出事業を実施する有限責任事業組合（LLP）『LLPクラウドエナジー』の設立を支援し、LLPでおひさまファンドの募集による市民出資を受けた。初期投資の軽減を図ることでペレットストーブの普及を目指す仕組みは、自然エネルギー信州ネットの『新しい公共の場づくりモデル事業』（長野県県民協働・NPO課、担当：長野市自然エネルギー普及協議会）の事業モデルとして構築したものである。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2012年度	ペレットストーブ設置（貸出型）	長野市内2箇所	
2012年度	ペレットストーブ設置（設置）	長野市内1箇所	
2012年度	ペレット（長野森林組合産）販売代行	事務局	2,050袋

（8）公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。

①長野市リサイクルプラザ

リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、リサイクル広場での不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）に活動の場を提供している。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2012/4/1 ～2013/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 31,588名
2012/4/2 ～2013/3/28	ボランティア団体利用 （リサイクル連絡会12グループ）	長野市リサイクルプラザ	利用者1,305名
2012/4/2 ～2013/3/18	ゆめ工房21体験講座 （8グループで51回開催）		参加者530名
2012/6 2013/2	着物のリフォーム教室 （4週連続の日曜日）		参加者102名
2012/5, 7, 9, 11 2013/1, 3	リサイクル広場 （奇数月に6回開催）		利用者3,948名
2012/4/6 ～2013/3/23	自主事業29回開催 （出前講座3回、追加講座4回他）		参加者1,732名
2012/8/3 ～2012/8/5	『ダンボールの世界で遊ぼう！』		参加者3,400名
2013/2/10 ～2013/2/24	『廃材アート2013』 不用品からのメッセージ		参加者606名
2012/4, 5, 6, 9, 10, 11 2012/3	フリーマーケット7回開催 （共催）		参加者8,800名
2012/9/9	ながの環境フェア2012開催 （共催）		参加者5,900名

『ダンボールの世界で遊ぼう！』

資源や不用品に関心を持ち、資源の有効活用、ごみの減量化、リサイクルの促進につなげ、地球環境保全へと発展させていく目的でダンボールタウン制作委員会と共同で開催した。8月3日から5日まで開催し、延 3,400 名の来館者となり、夏休み期間中の子どもたちと家族が楽しくエコ体験することができた。

『廃材アート 2013』 廃材を利用したごみ減量化（環境）へのメッセージ

不用品を活用したアート作品により、ごみの減量化やリサイクルの促進を目的とした『廃材アート 2013』を、廃材アート実行委員会と共同で開催した。2月10日から24日まで出展者20名、出展作品212点で開催し、延べ606名の見学者となった。

2月19日（日）には廃材アートが体験できるワークショップ（切絵でしおり作り）を開催し14名の参加があった。不用品を使つての作品が新鮮との反響が多く好評であった。